

『この国どんな国？』



各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。

今回ご紹介する国は
「サウジアラビア」



第15号(2008年12月19日)

サウジアラビアの基本情報

サウジアラビアはアラビア半島にあり、半島の約8割の面積を占めています。日本の約5.7倍という広大な国ですが、国土の約3分の1は不毛の砂漠地帯です。北はヨルダン、イラク、クウェート、東はカタール、アラブ首長国連邦、南はオマーン、イエメンに接しています。東部のアラビア湾沿岸から沖合い一帯は、世界の原油埋蔵量の約4分の1が存在する世界最大の油田地帯として、サウジアラビアのみならず世界にとっても非常に重要な地域です。サウジアラビアのメッカは、世界三大宗教の一つであるイスラム教の発祥の地です。現在世界には約12億人のイスラム教徒がありますが、彼らは1日に5回、メッカの方向に向かってお祈りを捧げます。また、イスラム暦12月の巡礼月には、世界中から毎年約200万人の信者がメッカに巡礼に訪れます。

- 首都： リヤド
- 面積： 約215万km²(日本の約5.7倍)
- 人口： 約2,400万人(内 外国人614万人)
- 言語： アラビア語(公用語)、英語
- 宗教： イスラム教
- 一人あたりGDP： 14,581ドル(2006年)
- GDP成長率： 12.4%(2006年)

出所: IMF、駐日サウジアラビア王国大使館



イスラム教の聖地メッカ



大使館情報

所在地： 東京都港区六本木1-8-4
*地下鉄南北線六本木一丁目駅から徒歩1分のところにある大きくて立派な建物です。

面会者： サウジアラビア大使館 商務部
アルホウェイティ・マンスール様、ナスリン・ビルキア様
今回お話を伺ったのは、サウジアラビア大使館のアルホウェイティ・マンスール様と、ナスリン・ビルキア様です。お二人は、サウジアラビア大使館商務部にて、日本とサウジアラビア両国の経済関係の強化・発展を目的として、貿易の振興や相互間の投資の促進を支援する様々な活動をされています。(2008年7月29日に訪問)



「商務部より」

サウジアラビア大使館では、商務部を設置することにより、現在の両国関係をさらに促進し、より広範な分野やレベルにまで広げていきたいと思っております。サウジアラビアのこれからの産業発展には、先端技術をはじめ様々な分野における日本の卓越した技術力の協力が不可欠であると考えています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

『この国どんな国？』



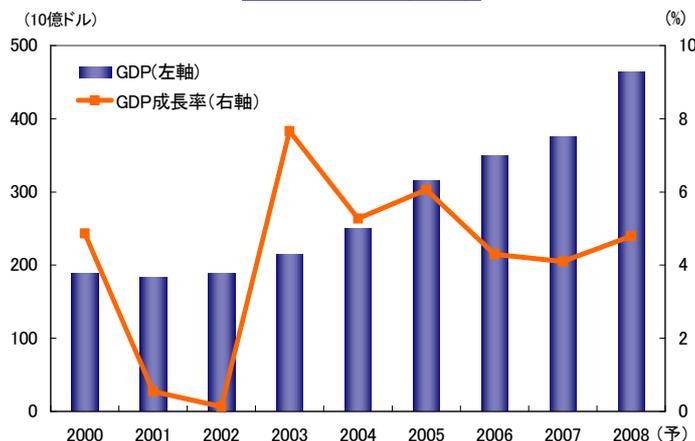
各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。

今回ご紹介する国は
「サウジアラビア」



経済の概況

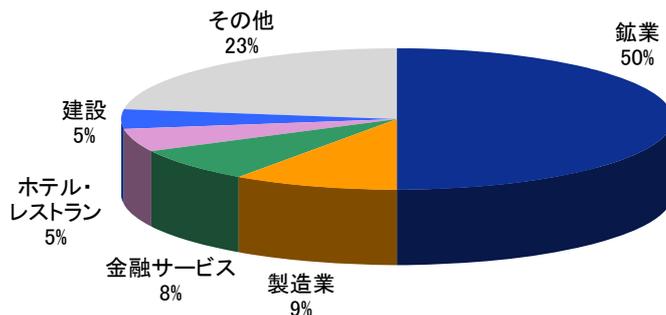
GDPとGDP成長率



サウジアラビアでは、2003年以降年4%以上の安定した経済成長が続いています。特に、非原油産業部門や、通信・運輸部門などの民間部門ではGDP成長率が約9%~10%という高い水準で推移しています。

出所:IMF

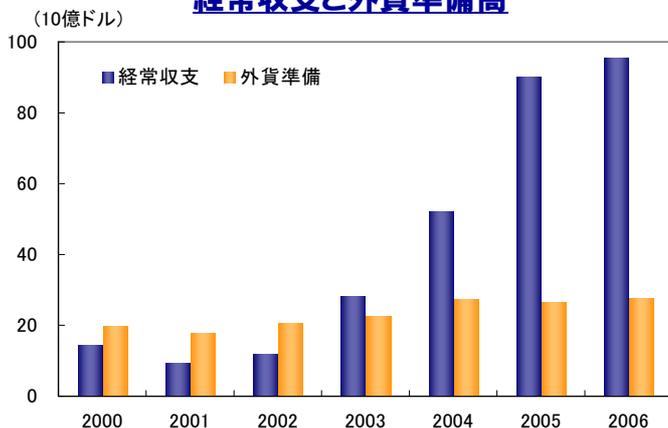
GDPの業種別構成比(2006年)



サウジアラビア経済の最大の特徴は、原油産業に立脚した原油依存型経済であるという点です。豊富な原油埋蔵量を誇るサウジアラビアでは、GDPに占める鉱業の割合が約50%と非常に高く、経済に大きな影響を及ぼしています。

出所:SAMA

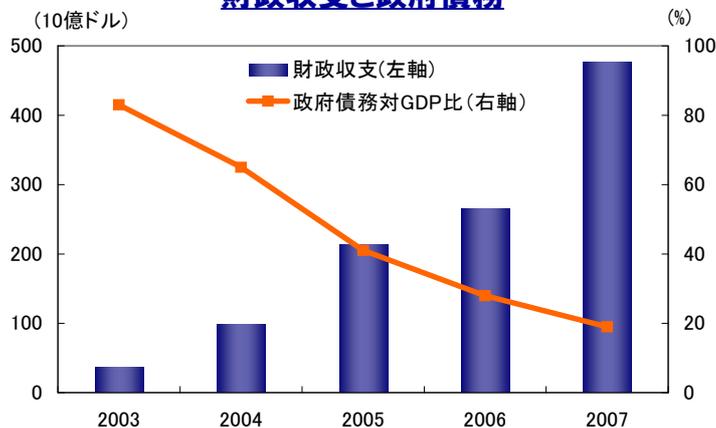
経常収支と外貨準備高



原油及び精製品が約90%を占めるサウジアラビアの輸出金額は年々増加しており、2006年には2003年の倍以上の水準に達しました。これに伴い、経常収支は大幅な黒字となっており、同時に外貨準備も増加してきています。

出所:IMF、SAMA

財政収支と政府債務



財政収支も黒字幅が拡大しており、黒字部分は積極的に公的債務(国内分のみ、対外債務はゼロ)の返済に充てているため、政府債務の対GDP比率は19%にまで急速に低下しています。

出所:経済企画省、SAMBA、SPA



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介する国は
「サウジアラビア」

原油収入の拡大

世界の原油生産/埋蔵量上位10カ国 (2007年)

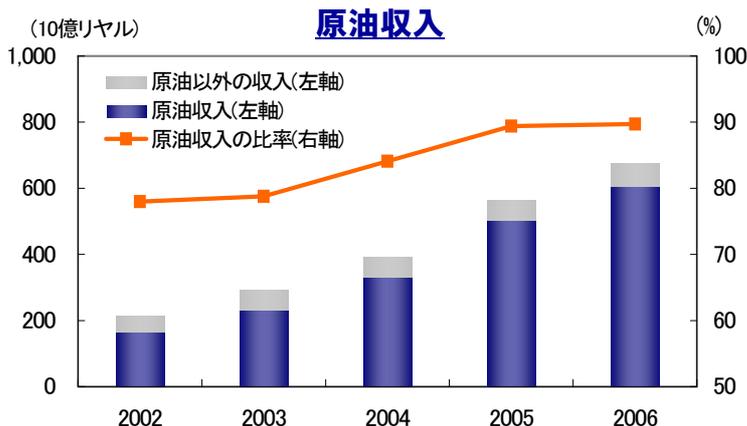
| 順位 | 原油生産量 | | 原油埋蔵量 | |
|----|---------|-------|---------|-------|
| | 国名 | シェア | 国名 | シェア |
| 1 | サウジアラビア | 12.6% | サウジアラビア | 21.3% |
| 2 | ロシア | 12.6% | イラン | 11.2% |
| 3 | 米国 | 8.0% | イラク | 9.3% |
| 4 | イラン | 5.4% | クウェート | 8.2% |
| 5 | 中国 | 4.8% | UAE | 7.9% |
| 6 | メキシコ | 4.4% | ベネズエラ | 7.0% |
| 7 | カナダ | 4.1% | ロシア | 6.4% |
| 8 | UAE | 3.5% | リビア | 3.3% |
| 9 | クウェート | 3.3% | カザフスタン | 3.2% |
| 10 | ベネズエラ | 3.4% | ナイジェリア | 2.9% |

サウジアラビアは世界最大の産油国であり、
2007年末時点では原油生産/埋蔵量ともに**世界第1位**となっています。
サウジアラビアの原油生産動向は世界の原油価格を左右するため、世界中から注目を集めています。
また、サウジアラビアの原油埋蔵量は約**2,643億バレル**で、金額に換算すると約**1,370兆円(*)**となり、日本と米国の全上場企業を買収できるほどの莫大な資金が地中に眠っていることとなります。

(*)2008年11月末時点 1バレル=54.43ドル、1ドル=95.52円で換算

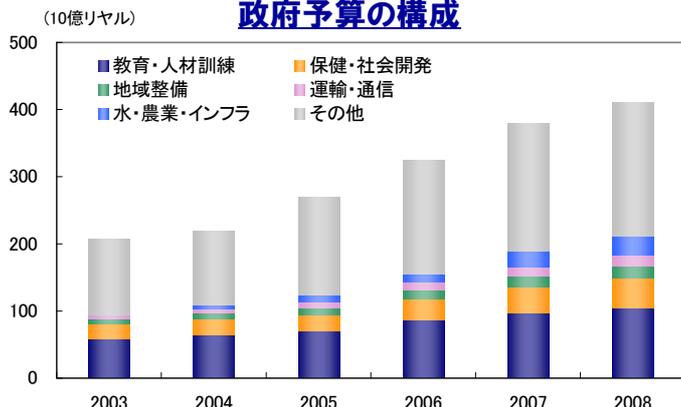
出所: BP

原油から得られる収入が国家収入の**約90%**を占めるサウジアラビアでは、原油価格と生産量が経済に大きな影響を及ぼしています。
2003年以降は原油価格の高騰に伴い、原油収入が急増しました。
直近は原油価格が下落しておりますが、元々2008年予算の原油想定価格は**1バレル48ドル**であり、上半期の高値にも支えられて十分な黒字幅を確保できる見通しです。



出所: SAMA, MEES

政府予算の構成



出所: SPA, Riyadh Bank

原油収入の増加により、2008年度予算は**対前年比8%**の伸びとなり、前年に続き過去最大規模の予算編成となりました。サウジアラビアの予算の特徴は、社会資本（教育、医療、社会保障、地域サービス等）に多くの財源が割かれている点です。サウジアラビアでは国民に対する社会福祉が充実しており、公共医療施設の医療費と学校教育費は無料、また電気、水道などの公共サービス料金も低く抑えられています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『この国どんな国？』

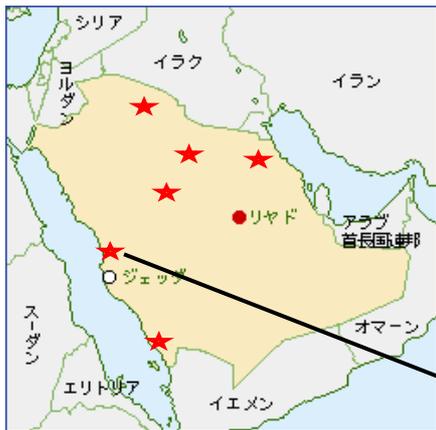
各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。



今回ご紹介する国は
「サウジアラビア」

経済構造の多角化

大規模経済都市建設計画



サウジアラビア経済は原油産業に過度に依存しているため、政府は経済構造の多角化を進めています。その一環として、大規模経済都市建設計画が進められています。

そのうちの一つ「キング・アブドラ・エコノミック・シティ」は、投資総額約270億ドル、完成すれば約200万人の人口と約100万人の新規雇用を生み出す「世界最大級の経済都市」となる壮大なプロジェクトで、現在サウジアラビア国内でこのような経済都市が6つ建設されています。

『キング・アブドラ・エコノミック・シティ』

出所：在サウジアラビア日本国大使館、SAGIA、EMAAR

キング・アブドラ・科学技術大学の設置



サウジアラビア政府は、サウジアラビアの競争力を強化し、持続的、安定的発展を実現するため、世界に通用する人材の育成にも力を入れています。アブドラ国王自らが推進する「キング・アブドラ・科学技術大学」は、MITレベルの超一流理工系大学を目指しており、潤沢な奨学金を用意して世界中から優秀な学生を募集しています。現在建設が進められており、開校は2009年9月の予定です。

出所：在サウジアラビア日本国大使館、KAUST

訪問を終えて

近年の原油価格高騰と増産による原油収入拡大を背景に、サウジアラビア経済は高い成長を続けてきました。現在サウジアラビア政府は経済の多角化を推進しており、国内への大規模な投資により今後は内需の拡大と長期的に安定した成長が期待できます。原油価格の下落は国家収入の減少につながりますが、サウジアラビアでは元々保守的な予算編成を行っていたため、現状のレベルは同国の経済成長を妨げるものではありません。原油需要が高まる中、世界最大の産油国が今後どのような発展を遂げるのか、非常に楽しみです。



(これらは全て2008年11月末現在の情報です)

取材・編集：スパークス・アセット・マネジメント(株) 事業開発部



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。